

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「家庭的な環境で暮らして欲しい～想いを受け止め温かく寄り添います～」の理念のもとに、迷ったり悩んだりした時はこの理念を基本とし、職員間で話し合いケアにつなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設の事業所で行っている認知症カフェの手伝いや、認知症なんでも相談所の開設を通して、地域の方と認知症に対する理解や支援方法を共有できるように取り組んでいる。また、地元の神社に奉納される厄年梵天が毎年ホーム前で梵天を披露してくれ、地域の一員としての交流も行っている。	定期的に行われている認知症カフェを地域の方々との交流の場として、また認知症や介護に対する理解、関心をもって頂くためにも、今後も継続して欲しいと思う。 運営推進会議での民生委員さんとの情報交換をはじめ、交流を図れていると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の様子や行事の内容等の写真を見ていただきながら報告している。また職員が研修に参加した際の感想や研修内容も紹介し、意見をいただいたり、地域の高齢者の実情を民生委員の方から報告していただき、今後どのような支援が必要とされるか等話し合いを行っている。	毎回行事の写真を見せてもらうことで、日頃の様子をわかりやすく伝えてもらっている。利用者の様子や施設運営についても報告をうけ、また委員からも地域の課題等情報提供されている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議への参加はもちろん、介護保険についての不明な点や施設運営についての助言もメールや電話でいつでも問い合わせることができる。また、事業所の避難訓練にも参加していただく機会を設け、有事の際に協力してもらえるような関係作りに取り組んでいる。	今回の避難訓練には参加できなかったが、今後も災害や緊急時に協力できるような関係を築いていきたい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会の設置と年2回の勉強会を通して、全職員が共通の知識と理解をもっている。防犯の観点から夜間		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修した際の職員の感想を見せてもらうことで、皆さんが身体拘束や高齢者虐待について知識や理解を深めていることが感じられます。

		施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる		のみ施設はしているが、日中は行っていない。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	委員会の設置と年2回の勉強会を通して、全職員が共通の知識と理解をもっている。また日常の中で不適切なケアは無かったか、ケアに悩んだことはなかったかをカンファレンスで確認し合い、職員間で不適切ケアに対する芽を摘んでいけるようにコミュニケーションをとりあっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束同様、職員の研修や声掛け等良く学ばれていると思う。介護を提供する側のストレスが虐待の要因になるとも聞いたことがあるので、職員がストレスを溜めずに働ける環境や、上手くストレス解消を行っていて欲しい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在活用している方はいませんが、以前参加した研修の資料を基に、制度の理解や活用について学ぶ機会を設けている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の際には契約書を一緒に読み合わせながら、疑問や不安等ないか確認している。また改定等で料金やサービスに変更がある際にも、質問や不明点をいつでも問い合わせ頂けるように伝えている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会時や受診対応の際にご家族からいただいた意見や希望は申し送りを通して職員間で共有し、ケアにつなげている。また、日常の何気ない会話の中から出た利用者の思いや希望もケアプランに取り入れ、実践できるように努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設運営に関しては変更事項等あれば連絡いただいている。面会の際にも疑問点や不明な点は質問させてもらっている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月の主任会議やケアカンファレンスを通して現場での意見や要望を聞き、管理者会議で代表者に伝えるという流れが構築できている。また、代表者や管理者の考えや思いも主任会議やケアカンファレンスで伝え、双方向でのやりとりができるような関係性を築いている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に会社を盛り上げていけるよう、職員とのコミュニケーションを大切にしている。処遇改善等の説明や内容についても都度説明し、職員の勤務状況の希望を考慮しながら、環境や条件の整備に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護職は大変な仕事だと思うので、職員の労働環境や労働条件に配慮して欲しい。そういったことが、ケアの質にもつながると思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間の研修計画や職員との面談を通して、職員一人一人の目標設定を把握し、それに基づきスキルアップしていけるよう、法人内外の研修や勉強会への参加を進めている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で研修の報告を聞いていると、職員が日頃から様々な研修や勉強会をしていることが伺える。働きながら資格取得された方もいるようなので、今後も積極的に行って欲しい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者や管理者は同業者との交流の機会や情報交換の場に参加しネットワーク作りに取り組んでいるが、職員が同業者や他施設の職員との交流を図る機会は少ないため、今後の取り組みへの課題である。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に挨拶を交わし、言葉をかけ合い利用者が安心できる環境作りに取り組んでいる。無理せず役割をもつていただくことで、共に生活しているという関係性が築けるように努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望があれば、面会や電話でのやり取りも可能な事を伝えている。また、美容室やかかりつけ医や薬局も本人や家族の希望を聞き、柔軟な対応ができるように努めている。	感染症が流行していても可能な限り面会できたり、ご本人の希望に合わせて電話や手紙のやり取りも支援されていた。今後も施設入所を機に社会から孤立するのではなく、本人のこれまでの関係性を大切にしたい支援を継続してほしい。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話やコミュニケーションを大切に、希望や思いの把握に努めている。また、会話や言葉だけでなく表情や行動からも本人の思いを把握できるように努めている。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族や職員間の情報を共有し、課題の把握とケアの方向性について意見を出し合い、それを基に介護計画を作成している。	利用者の変化や、今後の生活についても確認し、介護計画が作成されている。またそれを職員間で共有され、ケアに活かされている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族の希望を職員間で共有し、地域資源も活用しながら、その人にあった介護計画を作成して欲しい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日の様子を個人記録に記入し情報共有することはもちろん、朝夕の申し送りでも変化や気づきを伝え共有することで、介護計画やケアの提供に活かしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今年度から介護ソフトを導入したことで、これまでより記録物や計画書の共有が容易になり、業務の効率化や有効活用につながるように活かしていきたい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の日々変化や状況を職員間で共有し、その時々生まれるニーズや、本人、家族の希望に対し、柔軟に対応できるように努めている。	利用者のニーズに個別に対応されている。また、家族の希望にも柔軟に対応されていて、面会等も可能な範囲で対応してくれている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市町村からの情報や、運営推進委員会を通して得た情報を職員間で共有し、できるだけ入所前と変わらず生活していただけるように、地域資源の把握に努めている。	地域の現状については運営推進会議で情報共有できていると思うが、実際に利用したり役立っている事例は少ないため、今後も把握と支援に努めて欲しい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ医の変更はしなくても良いことを伝えている。受診の際には、近況報告を行い現状に合わせた適切な医療が受けられるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院が必要な際には、病院関係者にホームでの生活の様子を伝え、入院中も変わらない支援が受けられるように努めている。また、退院後の生活についても入院中から病院関係者と連絡を取り合い、退院後もスムーズに生活が継続できるように支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	多職種で連携をとり、入院となった際も安心して入院生活が送れるように支援して欲しい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の際に、本人や家族にホームでできること、できないことを伝え、重度化になった際や看取り期についてもなるべく本人や家族の希望に添えるよう支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	住み慣れた場所でできるだけ暮らしたいと思う反面、体調変化や急変の際にどうしたらいいか不安になると思う。日頃から良く話し合うことが大切だと感じている。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	救急救命の講習を職員全員が受講している。また、ケアカンファレンス等で、利用者一人ひとりに起こりうる急変やその際の対応について都度確認している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回の火災時の避難訓練と、年1回の水害時の避難訓練を行っている。また併設の小規模と連携をとりながらの避難訓練を実施することで、より安全に利用者が避難できる体制づくりに努めている。	避難訓練には参加できず残念だったが、今後も協力体制を築いていきたい。災害の際には近隣で協力し合うことが必要になってくるも、日頃からの交流も大切にしたい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害対策はしっかりとされていると思う。近隣の方にも協力を求めるといった観点から、避難訓練に参加していただくことも必要。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	トイレや入浴の誘導の際にはプライバシーに配慮することはもちろん、日常の職員間の情報共有の際にも一人日とりの人格を尊重し、丁寧な言葉使いで伝えるように努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人一人に対して尊厳をもちケアを提供してくれていることが感じられる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホームでの生活の流れは大まかにはあるが、その日の体調や気分に合わせて生活できるように支援している。またケアプランの更新の際や、日頃のコミュニケーションを通して、本人や家族がどのように暮らしたいかを知り、希望に添えるように支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりのできること、できないことを把握し、それに沿って無理のない範囲で食事の準備や片付けをお願いしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議の中でも、様々な行事に合わせた食事を提供されているようなので、今後も食事を楽めるような工夫をしてもらいたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態に合わせた食事の提供や、水分提供をおこなっている。また、食事が進まない時や、水分を思うように飲んでもらえない時も、本人の好きなものを聞き取り提供する等の支援をしている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後の口腔ケアは一人ひとりに合わせて見守りや介助を行っている。認知症の進行により、口腔内の不調を訴えることができない方に対する支援は今後の課題である。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアに関しては現在でも丁寧な対応をされていると思うが、可能であれば全員かかりつけの歯科医をもち、定期受診していただくことが全身の健康維持にもつながると思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当たり前のようにリハビリパンツやパットを使用するのではなく、一人ひとりのその時の状態に合わせて、パットの大きさを変えたり、綿の下着を履いていただく等の支援を行っている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人に合わせた対応をされていると感じます。トイレの失敗は本人にとってもダメージが大きいものだと思うので、プライバシーに配慮した対応を心がけて欲しい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴するタイミングやお湯の温度もなるべく本人の希望に添えるようにしている。また日々違った入浴剤を使用し、入浴を楽しんでいただけるように支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望と、その日の体調に合わせて休息できるような声掛けを行ったり、居室内のベットの配置や枕の高さ等、本人がゆっくりと休めるような支援を行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全員が一人ひとりの服薬内容を理解し、定期薬の服薬支援に併せて、とん服薬も本人の症状に合わせて使用できるように確認と情報共有を行っている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢になるとどうしてもお薬に頼りがちになってしまうが、一人一人の症状に合わせて適切なお薬の調整をして欲しいと思う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの身体的な状況と認知症の状態を考慮しながら、無理なく役割や楽しい時間がもてるように支援している。	できるだけ利用者の希望に添えるように、日頃からコミュニケーションをしっかりとケアされていると感じる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や買い物の希望にはなるべく添えるように支援している。また地域で企画されているイベント等も、喜んでいただけそうなものにはできるだけ参加したり、施設に来てもらう等周囲からの協力を得ながら支援している。	様々な行事を企画され、利用者を楽しませてくれている。運営推進会議での写真でも、行事を工夫されていることが伺える。可能であれば家族や地域住民も巻き込み、交流を深める機会にもなれば良いと思う。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族の意向に合わせて対応している。希望があれば預り金の中から嗜好品等も購入可能な事を伝えている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入所時の説明にも電話や手紙のやり取りが可能な事を伝えている。実際に遠方のお孫さんと手紙の交換をされている方もいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	トイレの場所にはわかりやすいように案内を貼ったり、本人の了承を得て部屋に名前も付けている。また季節の壁画も利用者さんと一緒に作りながら季節を感じれるような会話を楽しんでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節の貼り絵が飾れていたり、個人のお部屋にも馴染の物が置かれていたり、ゆっくりと過ごせるような空間づくりがされていると感じる。

**IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)**

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	可能な限り思いや希望を聞き、意向に添えるように努めている。また、何気ない日々の会話の中から思いを引き出し汲み取れるように支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	上記同様に日々の会話の中からこれまでの習慣や特徴などを汲み取り、ケアや支援に活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日の健康チェック、定期受診はもちろん、居住環境など安全面を考え、状態の変化に応じて柔軟に対応している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調面の変化にも細やかに対応されていると思う。施設内の環境も整理されており、安全面への配慮も感じられる。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一日の大体の日課はあるが、必ずしもその通りではなく、本人のペースに任せていることが多い。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際や家族の面会の際に写真やお気に入りの衣類、飾り物等自由に持ち込んでいただいている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の大切な物や馴染のものを身近に置くことで安心できる環境作りをされていると思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	戸外に出掛ける支援は不足でなく行っているが、本人からの希望や意向であることが多い。外出に対して消極的な方の外出支援は今後の課題である。	利用者からの希望で外出したり、行事に出掛けることは少ないようだが、希望があった時にはできるだけ希望をかなえられるように支援して欲しい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力に応じた役割をもっていただき、状態変化があった際でも、役割の継続ができるように支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午前、午後のお茶や生活リハビリなど集団で行う時に会話や交流を楽しめるように支援している。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	色々な行事を企画され、利用者が楽しまれているのを感じます。好きな事や趣味をできるだけ生活の中に取り入れたり、利用者同士の交流が深まるような支援をされていると感じる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人との交流は全くないわけではないが、一人ひとりが十分な交流を持つことは今後の課題である。	庭先で顔を合わせると挨拶を交わしたりしているようだが、今後は定期的な交流の場を作り交流を深めていければ良いと思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ここに居れば心配ない。」との言葉が聞かれる事もあり、安心して暮らすことができている。	ゆっくりと穏やかな生活をされていることが毎回の運営推進会議を通して感じられる。利用者にとっての安心できる場所であり、地域にとっても何か困った時はここに相談にできればと思えるような関係を今後も築いていきたいと感じている。	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が望んでいることを実現する為に職員が支えながら、様々な工夫をされていると思う。利用者自身が役割をもったり、輝ける環境があればそこが自然とその人にとっての居場所になると思う。